



「小さなまち」の 強みを活かす 2期目への決意

これからの4年間で、どのような高浜市にしていこうと考えていますか？

高浜市は人口が約4万6千人、面積が約13km²という「小さなまち」です。しかし「小さなまち」だからその強みを活かしていきたいと考えています。

「小さなまち」の強みとは？

例えば、市民から職員の顔が見え、行政からも市民の顔が見える。つまり、身近で、きめこまかな対応ができます。

また、まちへの想いを共有し、力を合わせやすい。高浜市の未来を切り開いていくうえで、最も重要な点です。

一人ひとりが少しずつ力を持ち寄り、力を合わせて行動することによって、まちを動かす大きなエネルギーになります。「まちがよくなってきた」という変化が目に見える形で表れ、実感できるようになることで、「もっといいまちにしていきたい」という、さらなる意欲にもつながってきます。

取り組むべき課題は数々あると思いますが、中でも「特に力を入れたい」と考えていることを教えてください。

■まちへの愛着・誇りを育む

高浜市で暮らす日常の「心地よさ」を、市民の皆さんと行政の協働によりデザインし、実践につなげていく取組みを進めます。

■将来の公共施設のあり方検討

高度経済成長期に整備された多くの公共施設は、近い将来、大規模改修や更新の大きな波が訪れます。

機能集約などにより延床面積の圧縮に努め、長期財政見通しに基づき、他の施策とのバランスを考慮したうえで、計画的に進めます。

■子育て・子育て支援

子どもは社会の宝。安心して子どもを産み育てることができ、環境を整えるため、子育てを総合的に応援する体制を強化し、民間園の設立や保育園の定員拡大などにより、待機児童ゼロをめざします。

また、子どもの視点に立って自主性を育むことができるよう、学童保育や放課後居場所事業を充実します。

